



説明・同意書(1/2)

ピコ秒ネオジウム:ヤグレーザーは光老化による色素斑・色素性病変(いわゆる青アザや茶アザ)の色調改善、刺青等の治療を目的としています。

- ① 従来のQスイッチ付きレーザーでも皮膚にレーザーが当たっている時間は10億秒分の1~5秒と極めて短い時間で照射しますが、ピコ秒レーザーではさらに100倍短い時間(1兆分の1秒)のレーザー照射になります。短くなればなるほど、皮膚に対しても瞬間に効率良くエネルギーを伝えることができます。
- ② 皮膚に物理的なダメージを与えることで、皮内深部のコラーゲン産生作用を促し、シワやたるみ、毛穴の改善など肌本来の弾力を取り戻し、キメを細かくしてくれる効果が期待できます。
- ③ 熱の拡散が少なく周囲へのダメージが少ないため、従来のQスイッチ付きレーザーと比べレーザー照射後の合併症(炎症反応や色素沈着)を軽度に抑えることができ、少ない治療回数での色調の改善が期待されます。

適応症例

◆ピコスポット治療

しみ(老人性色素斑、脂漏性角化症) | ほくろ | そばかす(雀卵斑) | あざ(ADM、太田母斑、扁平母斑、異所性蒙古斑など)

◆ピコフラクショナル治療

毛穴 | たるみ | 全体的なくすみ | 小じわ | ニキビ跡 | 傷跡 | 肌質の改善(ハリ・キメを出したい方)

禁忌事項

下記項目に該当する方は治療がお受けできません。

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| ・光過敏症の方 | ・てんかん発作がある方 |
| ・ケロイドを有する部位及びケロイド体质の方 | ・傷のある部位又は傷の治りが悪い方 |
| ・治療部位に金属糸又は金属プレート等を入れている方 | ・免疫抑制剤を使用中の方 |
| ・リウマチ治療歴のある方(金属剤内服歴のある方) | ・糖尿病重症の方※医師の判断 |
| ・皮膚悪性腫瘍、前癌病変又はその疑いがある方 | ・治療部位に重篤な皮膚疾患及び感染症がある方 |
| ・ヘルペスウィルスの症状が出ている方 | ・妊娠中の方 |

治療についての注意点

◆ピコスポット治療

- 症例により、必要な治療回数は異なります。1~3ヶ月に1回の治療間隔となります。
- 照射後、赤みが出ますが、数時間で徐々に引いていきます。その後、1日~数日程度でかさぶたが取れるので、その間は処方された炎症止めを塗布して下さい。
- 痛みはパチッとする程度ですが、広範囲照射する方や、痛みに弱い方はご希望により外用麻酔を使用することもできますので、お申し付け下さい。(別途料金)

◆ピコフラクショナル治療

- 1回の治療で肌質の変化を実感できますが、回数を重ねることで、根本的な肌質改善につながります。
1ヶ月毎に1回、5回以上の治療をお勧めします。
- 照射後、3~5日は赤み、軽度の点状出血が出る為、その間は処方された炎症止めを塗布して下さい。
- ある程度の痛みを伴うため、外用麻酔を併用することをお勧めします。(別途料金)



説明・同意書（2/2）

◆ 共通

- 日焼けされていると安全に治療が行えない為、医師の判断で治療をお断りする場合があります。
少なくとも1ヶ月前から日焼けはお控え下さい。
- 大きなホクロ、新しい傷や傷跡、皮膚疾患のある箇所は治療を行わないことがあります。
- 治療の少なくとも1～2週間前から、施術部位への皮膚を刺激するような治療（脱毛剤、刺激の強い化学物質）はお控え下さい。
- 治療部位にメイク、日焼け止めが残っていると効果に影響が出ますので、治療前は完全に落とすようにして下さい。
- 治療中はレーザーから目を守るためにゴーグルを着用していただきます。レーザー照射中は絶対に外さないようにして下さい。また、ゴーグル着用中も目は閉じるようお願い致します。
- 有毛部の治療の場合、白く反応する、毛が薄くなる、細くなるなどの合併症が起こることがあります。治療前に剃毛が必要になることがあります。（別途料金）

経過・アフターケアについて

- ・レーザー照射後、一時的な副作用として照射部位の色が濃くなる（炎症後色素沈着）、色素脱失が生じることがあります。これらの症状はほとんどの場合、数ヶ月ほどで軽快していきます。
- ・治療後、軽度の赤みやほてり感、腫れが出ることもあります。これらは一時的なものですが、場合によっては外用薬を処方しますので医師の指示に従い塗布して下さい。
- ・治療後は紫外線の影響を受けやすくなっています。日焼けはレーザー照射部位の色素沈着の原因となる為、SPF30～50程度の日焼け止めを使用するなど、十分な紫外線対策を行って下さい。
- ・治療後は乾燥しやすくなっている為、いつも以上に保湿を行うようにして下さい。
- ・メイクは治療直後から可能ですが、赤みが強い場合、その部位はお控え下さい。また、強くこする行為はお控え下さい。
- ・治療当日は洗顔、シャワー浴は可能ですが、レーザー治療後は、感染・炎症の増悪を防ぐため、過度な運動や飲酒、入浴やサウナは2～3日お控え下さい。
- ・施術部位の剃毛（シェービング）やピーリングは、施術後2週間はお控え下さい。
- ・肝斑が少しでも疑われる場合は、トラネキサム酸やビタミンC、タチオンなどの服用や美白剤などの外用薬の使用をお勧めします。

起こりうる合併症

- 点状出血 水疱 色素沈着 痂皮 色素脱出 浮腫 肿脹 紅斑
 アレルギー反応 紫斑 肝斑の悪化

担当者氏名

医師署名:

私は、上記の内容を理解した上で、本日治療を受けることに同意いたします。



※施術を受ける方が未成年者の場合は親権者・法定代理人様の直筆にて下記をご記入ください。

親権者・法定代理人氏名:

(本人との続柄:)

親権者・法定代理人住所:

電話番号